学校番号	2004

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	倫理（東京書籍）						
副教材等	最新図説倫理（浜島書店） 要点マスター倫理　整理と演習（東京書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

青年期の特徴や心理学，日本や世界の古代から現代までの哲学や思想，宗教について学びます。普遍的な考えや民族固有の考え，時代性を踏まえた考え，社会関係を踏まえた考えなど，多面的・多角的な視点から理解を深めていきます。先哲たちの考えに触れることで，人間の抱える課題や悩みは，すべての人に共通する普遍的な問いであり，また彼らの知恵が現代の世界を生きる私たちに寄り添い，勇気づけてくれるはずです。

人物名や単語を暗記する科目ではなく，考える科目です。主体的に思索し，人間としての生き方在り方について，多様な価値観や考え方を学び，考える力を養いましょう。

２　学習の到達目標

（１）先哲の思想や思想，宗教，心理学についての基本的な事柄を理解し，自己確立や他者理解に生かす知識として身に付ける。また，原典や資料を適切に読み取り，まとめる技能を身に付ける。

（２）人間としての生き方在り方や現代の諸課題を広く見いだし，それらの倫理的課題について，概念や理論，資料などを活用して，多面的・多角的に考察し探究する力や論理的に説明したり対話したりする力を養う。

（３）人間としての生き方在り方や現代の諸課に対して興味関心をもち，自立した人間として，主体的に問題解決しようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	先哲の思想や思想，宗教，心理学についての基本的な事柄を適切に理解し，知識を定着させている。また，原典や資料を適切に読み取る技能を身に付けている。	人間としての生き方在り方や現代の倫理的課題を解決するために，概念や理論，資料などを活用し，さまざまな視点から論理的に思考し，思索を深め，説明したり対話したりする力を身に付けている。	人間としての生き方在り方や現代社会の諸課題について，主体的に探究し，問題解決に向けて他者とともに構想することで，現代社会を生きる自立した人間としての自覚を深めている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方／第1章　人間の心のあり方	1節　人間とは何か 1　人間の特性 2　青年期の課題 2節　人間の心の働き 1　認知 2　感情と個性 3　発達	a：青年期の特徴や認知，心と行動の関係性について，資料を適切に読み取り，教科書の記述から基本的な知識を定着させている。 b：青年期の意義や心と行動の関係性について，思想家の考えと実体験を照らし合わせながら，多面的・多角的に考察している。 c：青年期の意義や心と行動の関係性についての関心を高め，それを意欲的に探究し，他者と共に生きる自己の生き方在り方について主体的に探求しようとしている。	定期考査 小テスト	グループワーク 論述	振り返りシート

	第1編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方／第2章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ	1節　哲学すること 1　人間と哲学 2節　ギリシャの思想 1　哲学の誕生と自然哲学 2　ソクラテスとソフィスト 3　プラトン 4　アリストテレス 5　ヘレニズム・ローマ時代の思想 3節　宗教と社会 1　集団的な現象としての宗教 4節　キリスト教 1『旧約聖書』の倫理 2　イエスの教え 3　キリスト教の展開 5節　イスラーム 1　ムハンマドとイスラーム教の教え 2　イスラームの展開 6節　仏教 1　古代インドの思想 2　ブッダの思想 3　仏教の展開 7節　中国の思想 1　講師と儒家の思想 2　儒教の展開 3　老荘思想 8節　芸術 1　美の発見と芸術の創造・鑑賞 2　芸術と社会	a：源流思想や宗教について，人間の存在や価値にかかわる基本的な課題であることに気付き，自己確立の課題とつなげて理解し，人格形成に生かす知識として身に付けている。 b：人間存在や価値にかかわる基本的な課題を見出し，種々の源流思想の考え方を手がかりとして多面的・多角的に考察し探究するとともに，人間としての生き方在り方について多面的・多角的な視点で公正に判断している。また，その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 c：源流思想や宗教のもつ意義に対する関心を高め，人間存在の価値にかかわる課題を意欲的に探究し，人間としての生き方在り方について主体的に学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	グループワーク 発表 論述	振り返りシート

後期	第1編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方／第3章　さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ	1節　近代と人間尊重の精神 1　人間主体の時代 2節　近代思想の展開 1　新しい学問の方法 2　経験論と合理論の対話 3　社会契約説 3節　人格の尊厳と人倫の思想 1　カント　人格の尊厳 2　ヘーゲル　人倫の思想 4節　社会変革の思想 1　功利主義の幸福 2　社会主義思想 3　社会の進歩と実証的思想 5節　理性への疑念 1　世界をとらえる知のあり方の変容 6節　人間観・言語観の問い直し 1　存在への問い 2　新たな知の枠組み 3　現代思想の展開 7節　他者・自然とのかかわり 1　他者と言語 2　民主社会の成熟のために 3　社会参加と奉仕 4　自然と人間とのかかわり	a：ルネサンス以後現代に至る西洋思想の形成と展開を通じて，科学や民主主義社会の成立過程，人間の生き方在り方について先哲の思想を理解し，知識を定着させている。 b：ルネサンス以後現代に至る西洋思想の形成と展開を通じて，科学や民主主義社会の成立過程，人間の生き方在り方について多面的・多角的に探究するとともに，思索を深め，自分の考えを他者に表現している。 c：ルネサンス以後現代に至る西洋思想の形成と展開や民主主義，人間の自由，幸福について関心を高め，意欲的に探究し，人間としての生き方在り方について主体的に学ぼうとしている。	定期考査 小テスト	グループワーク 発表 論述	振り返りシート

	第1編　現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方／第4章　国際社会に生きる日本人としての自覚	1節　日本人の精神風土 1　日本人の自然観 2　日本人の宗教観 3　日本人の倫理観 2節　仏教と日本人の思想形成 1　仏教の受容 2　仏教の日本的展開 3　仏教と日本文化 3節　儒教と日本人の思想形成 1　儒教の受容 2　儒教と日本的展開 4節　国学の思想 1　国学の形成と展開 5節　庶民の思想 1　庶民の思想の広がり 2　幕末の思想 6節　西洋思想と日本人の近代化 1　近代化と啓蒙思想 2　キリスト教の受容 3　社会思想の展開 4　近代的な自己の追求 5　近代日本の創造的な思想 7節　国際社会に生きる日本人の自覚 1　戦後思想の動向 2　グローバル化と日本人	a：日本の風土や伝統，外来思想の受容に対する関心を高め，日本人にみられる人間観・自然観・宗教観について，基本的な事柄を理解し，知識を定着させている。 b：日本の風土や伝統，外来思想の受容に対する関心を高め，日本人にみられる人間観・自然観・宗教観などの特質について，多面的・多角的に考察し，探究するとともに思索を深め，自分の考えを他者に表現している。 c：日本の風土や伝統，外来思想の受容に対する関心を高め，日本人にみられる人間観・自然観・宗教観について，意欲的に探究し，国際社会に生きる主体性のある日本人としての生き方在り方について考えようとしている。	考査 小テスト	グループワーク 論述	振り返りシート

	第2編　現代の諸課題と倫理	1節　生命 2節　自然 3節　科学技術 4節　福祉 5節　文化と宗教 6節　戦争と平和	a：現代における倫理的課題について，メディアなどを積極的に活用し探究し，自らの課題として基本的事柄について理解し，知識を定着させている。 b：現代における倫理的課題について，環境や生命，国際社会などさまざまな視点から，問題意識を多面的・多角的に考察し，自らの生き方在り方にそれらを引き付けて広い視野にたって主体的かつ公正に判断している。また，それらを探求し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 c：現代における倫理的課題について，主体的に探究し，問題解決に向けて他者とともに構想することで，現代社会を生きる自立した人間としての生き方在り方について考えようとしている。	考査 小テスト	グループワーク 論述	振り返りシート

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度